

地球温暖化対策の推進に関する法律に  
基づく地方公共団体の事務及び事業に係る  
実行計画策定マニュアルについて



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

環境省地球環境局  
地球温暖化対策課

# 実行計画策定の背景と期待される効果

## 背景

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、都道府県及び市町村は、温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画を策定し、公表しなければならないとされている。

## 期待される効果

- ・地域の足下からの温室効果ガスの排出抑制
- ・グリーン調達の推進
- ・事務経費の削減
- ・温室効果ガス排出抑制対策に関する経験・知見の蓄積

# 実行計画の策定(1/4)

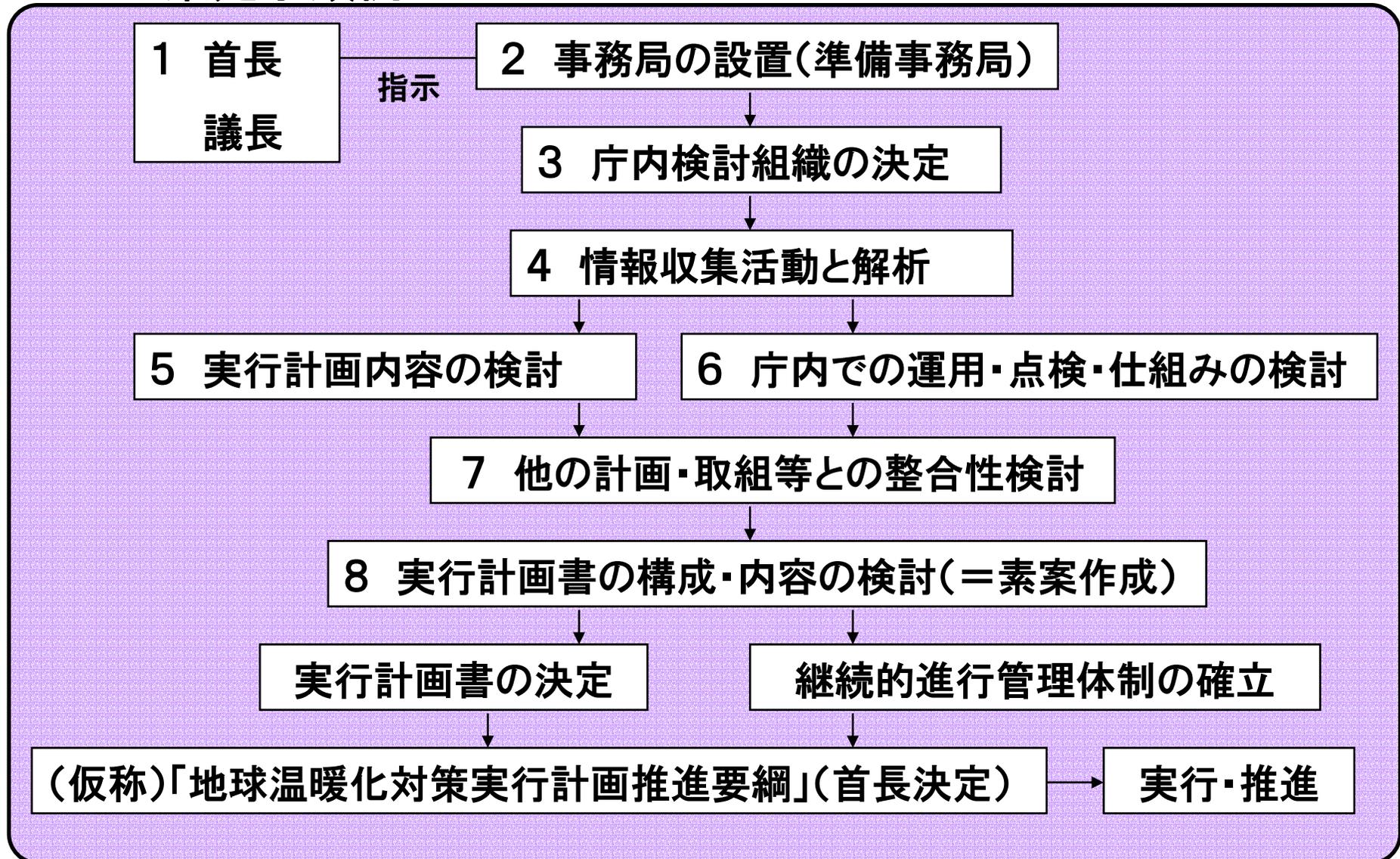
## 実行計画策定の全体像

- 実行計画を策定する主体
  - ・ 都道府県及び市町村
  
- 実行計画に必要な要素
  - ・ 計画の目的、機関等の基本的事項
  - ・ 温室効果ガスの総排出量の把握
  - ・ 実行計画に定めるべき措置の内容
  - ・ 措置の目標、温室効果ガスの総排出量に関する数値的な目標
  
- 実行計画の策定手順(次スライドの手順例を参照)
  
- 実行計画策定のための体制づくり
  - ・ 既存の組織を活用することができれば効率的

※地方公共団体の規模能力に応じて策定することが必要

# 実行計画の策定(2/4)

## ●策定手順例



## 実行計画の策定(3/4)

### 実行計画策定に当たっての基本的事項の決定

- ・実行計画の目的・期間
- ・基準年
- ・対象とする事務・事業の範囲  
(対象外となる事務・事業については、実行計画策定マニュアルp.10参照)
- ・対象とする組織・施設等の範囲

### 温室効果ガスの総排出量調査

実行計画では、温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標を定めることとなっている。そのため、数量的な目標を定めるに当たって、まず総排出量の現状を把握する。

### 実行計画に盛り込む内容の検討

- ・具体的な取組項目
- ・取組ごとの目標(可能な限り数量的な目標設定を行う)
- ・温室効果ガス総排出量に関する目標

# 実行計画の策定(4/4)

## 実行計画書の作成

実行計画の内容について検討した結果を、計画書としてまとめる。

## 実行計画書の構成例→

### 1. 基本的事項

- ・計画の目的
- ・計画の期間
- ・計画の範囲

### 2. 目 標

- ・措置の目標
- ・温室効果ガスの総排出量に関する目標

### 3. 取 組

- ・財やサービスの購入・使用に関する取組
- ・建築物の建築、管理等に関する取組
- ・その他の事務・事業に関する取組

### 4. 推進と点検・評価

- ・推進・点検体制
- ・職員に対する研修等
- ・実施状況の点検の方法

## 実行計画の実施・運用

### 実行計画の推進体制の整備

目標の達成に向けて誰がどのような役割を担い、どのように計画を実施・運用していくのかを検討するとともに、実行計画を推進するための体制を整備する必要がある。

### 職員に対する研修等

実行計画に掲げられた取組を実践するのは一人ひとりの職員である。実行計画の目標が達成されるか否かは、一人ひとりの職員の意識が重要な鍵となることから職員の意識を向上させるための仕組みを整備することが重要である。

ただし、人口の少ない市町村で、環境保全に係る組織体制が無いところでは、本スライドの内容は必須ではない。

# 実行計画の点検・評価

## 実行計画の点検・評価

実行計画に掲げた目標の達成に向けて、取組が適切に行われ、当該目標が達成されているかどうかの判断のため、個別の取組の状況、排出量の推移を把握する。

また、点検結果を評価することにより、実行計画の見直しに向けての検討材料とする。

## 点検結果の公表

実行計画に基づく措置の実施状況を公表することは法律で義務付けられており、計画のさらなる推進を期して行う。可能な限り詳細に公表することが望ましい。

## 改善にむけての見直し

### 目標や取組の見直し

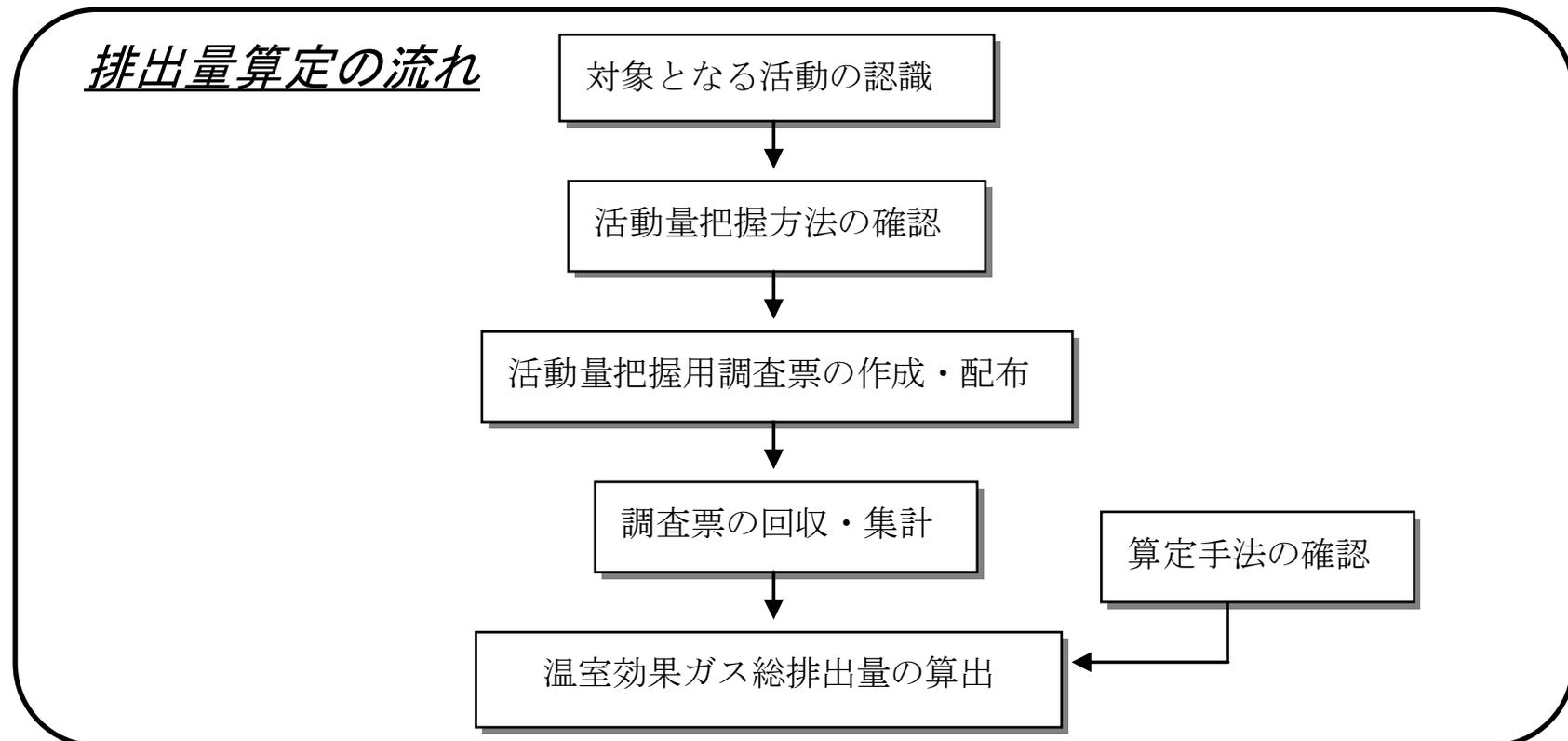
実行計画の見直しの主なものとして、取組と目標が挙げられる。点検結果を踏まえ、必要に応じた見直しを行うことが重要である。

### 運用の仕組みの見直し

実行計画を効率的に運用するため、計画の実施に当たって整備したさまざまなくみについても見直ししていく必要がある。

## 温室効果ガスの総排出量の算定(1/2)

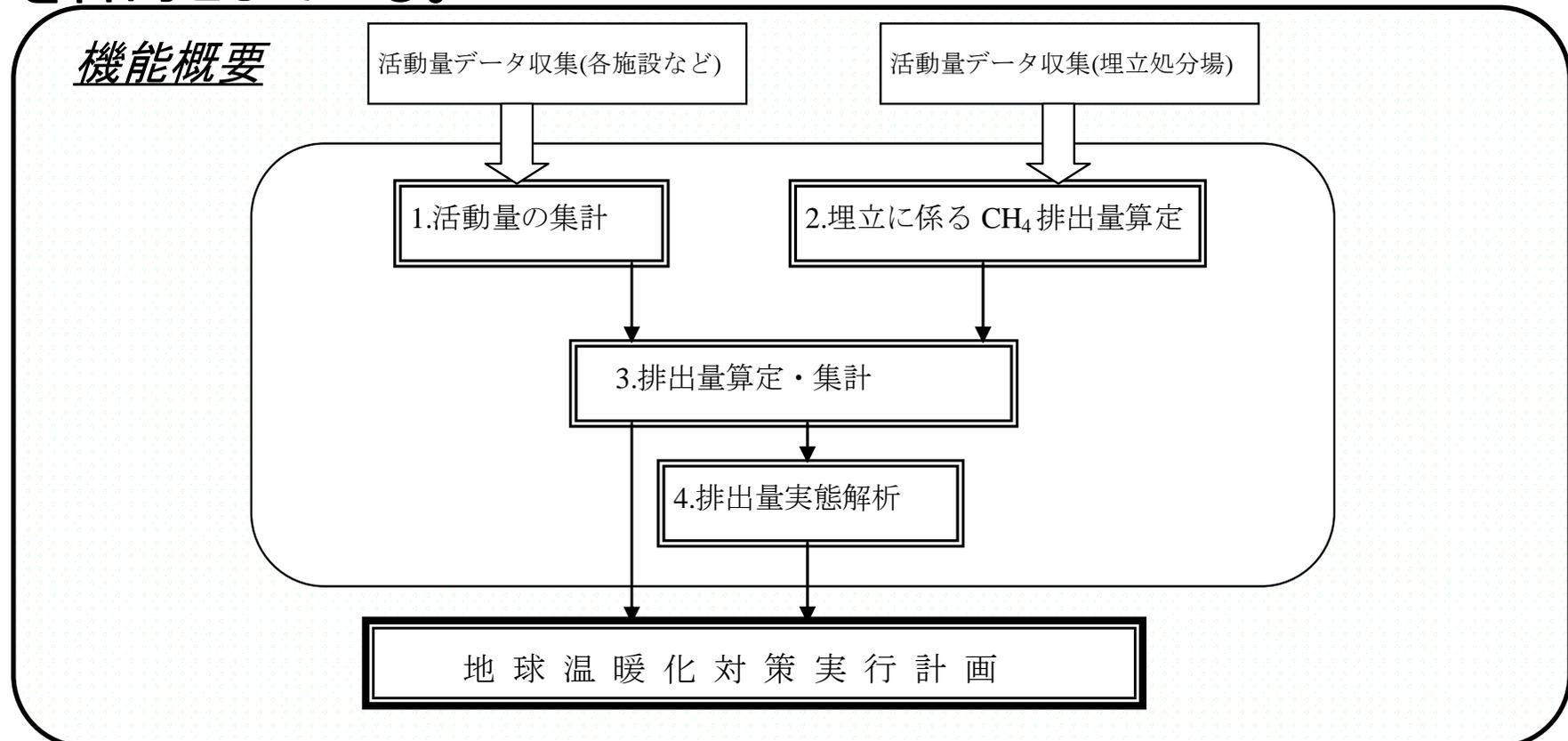
地方公共団体は、自らの事務・事業に係る温室効果ガスの総排出量の算定を行う必要がある。算定の具体的な対象、方法等については、「地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体の事務及び事業に係る温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に示されている。



## 温室効果ガスの総排出量の算定(2/2)

### 温室効果ガスの総排出量の算定を支援するシステム

環境省ホームページに温室効果ガスの総排出量の算定を支援するシステムが公開されている。本システムは、実行計画策定担当者の事務を軽減し、排出量算定等に伴う計算ミスの防止を目的としている。



# 温室効果ガスの総排出量の算定を支援するシステムの画面例 ～活動量入力画面～

Microsoft Excel - betatest30.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS Pゴシック 11 B I U % , +.0 /00 +.0

F11 = 100

メニュー			登録年度	機関名	所属	登録 読込 編集 クリア 削除 集計 提出									
解除 保護			1999	〇〇市	〇〇小学校										
				増立町											
			単位			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
燃料 使用 量	一般炭		kg												
	練炭または豆炭		kg												
	ガソリン		L	10	3	8	10	3	8	10					
	灯油		L	100											
	軽油		L												
	A重油		L												
	B重油		L												
	C重油		L												
	液化石油ガス(LPG)		kg												
	液化天然ガス(LNG)		kg												
都市ガス		m3	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
電気使用量(一般電気事業者)		kWh	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000				
電気使用量(その他電気事業者)		kWh													
熱の供給量		MJ													
自 車 の 走 行 量	ガソリン	普通・小型乗用車	km	100	30	80	100	30	80	100					
	ガソリン	普通自動車	km												
	ガソリン	普通貨物車	km												
	ガソリン	小型貨物車	km												
	ガソリン	軽貨物車	km												
	LPG	特殊用途車	km												
	軽油	普通・小型乗用車	km												
	軽油	普通貨物車	km												
HFC-134aの封入量(冷蔵庫等の使用)		kg	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
HFC-134aの廃棄量(冷蔵庫等の廃棄)		kg	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

MSInput/intro/Menu/埋立CH4/Input/Refer/Graph/

マント

# 温室効果ガスの総排出量の算定を支援するシステムの画面例 ～埋立処分に伴うCH<sub>4</sub>排出量の算定システム～

Microsoft Excel - betatest30.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS P明朝 10 B I U % , +.0 +.00

D76 = 80

戻る **埋立処分に係るメタン排出量の算定**  
過去にさかのぼって、年度毎に廃棄物の種類別埋立処分量を入力してください。

種類	食物くず	紙・繊維くず	木くず	対象年度	メタン排出量(kg)	入力
排出係数(kg-CH <sub>4</sub> /t)	153.6	154.6	144.8	1999	41,687	
分解期間(年)	7	15	75			
和暦	年度	処分量(t)	処分量(t)	処分量(t)	メタン排出量(kg)	
昭和63年	1988年	80	200	20	11,566	
平成1年	1989年	80	200	20	15,422	
平成2年	1990年	80	200	20	19,277	
平成3年	1991年	80	200	20	23,132	
平成4年	1992年	80	200	20	26,988	
平成5年	1993年	80	200	20	29,088	
平成6年	1994年	80	200	20	31,188	
平成7年	1995年	80	200	20	33,287	
平成8年	1996年	80	200	20	35,387	
平成9年	1997年	80	200	20	37,487	
平成10年	1998年	80	200	20	39,587	
平成11年	1999年	80	200	20	41,687	
平成12年	2000年				39,932	
平成13年	2001年				36,115	
平成14年	2002年				32,298	
平成15年	2003年				28,482	
平成16年	2004年				24,665	
平成17年	2005年				20,848	
平成18年	2006年				17,031	

MS Tinput / intro / Menu / 埋立CH<sub>4</sub> / Input / Refer / Graph /

コマンド

# 温室効果ガスの総排出量の算定を支援するシステムの画面例 ～排出量集計結果による一覧表～

Microsoft Excel - betatest30.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS Pゴシック 11 B I U % , +.00 +.0

A1 =

メニュー

登録年度	機関名	所属	データ編集
1999	〇〇市	庁舎全体	

CO2換算温暖化ガス排出量一覧表

単位: C-kg

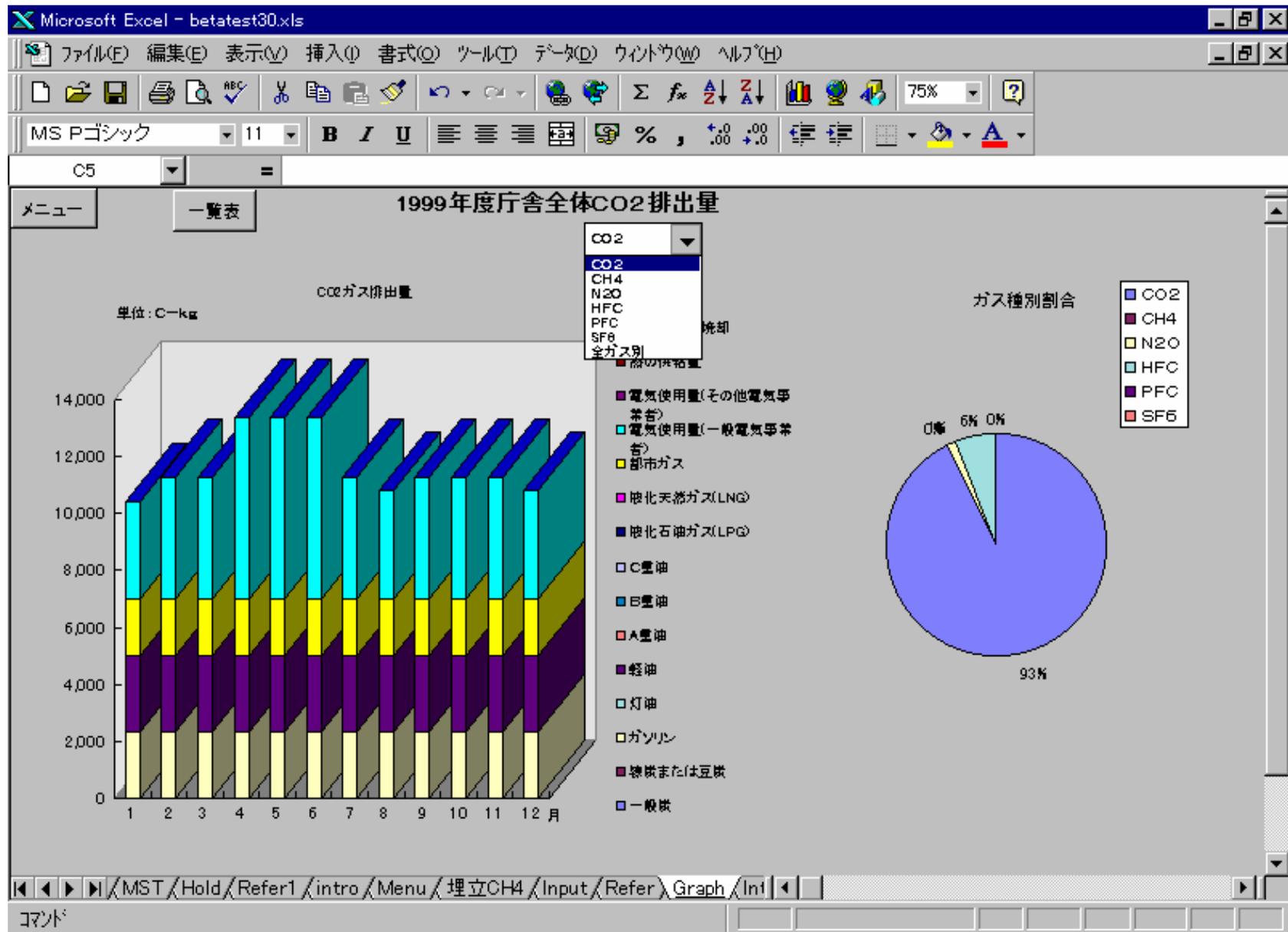
グラフ 項目別 区分別 ガス別

ガス別詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
CO2								
一般炭	0	0	0	0	0	0	0	
練炭または豆炭	0	0	0	0	0	0	0	
ガソリン	2,359	2,359	2,359	2,359	2,359	2,359	2,359	
灯油	0	0	0	0	0	0	0	
軽油	2,644	2,644	2,644	2,644	2,644	2,644	2,644	
A重油	0	0	0	0	0	0	0	
B重油	0	0	0	0	0	0	0	
C重油	0	0	0	0	0	0	0	
液化石油ガス(LPG)	0	0	0	0	0	0	0	
液化天然ガス(LNG)	0	0	0	0	0	0	0	
都市ガス	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	
電気使用量(一般電気事業者)	3,400	4,250	4,250	6,375	6,375	6,375	4,250	
電気使用量(その他電気事業者)	0	0	0	0	0	0	0	
熱の供給量	0	0	0	0	0	0	0	
一般廃棄物焼却	0	0	0	0	0	0	0	
その他	8	8	8	8	8	8	8	
CH4								
自動車走行量	0	0	0	0	0	0	0	
一般廃棄物焼却	0	0	0	0	0	0	0	
廃棄物の埋立	0	0	0	0	0	0	0	
下水処理量	0	0	0	0	0	0	0	

MSTinput/intro/Menu/埋立CH4/Input/Refer/Graph/

北へ先を選択し、Enter キーを押すか、貼り付けを選択します。

# 温室効果ガスの総排出量の算定を支援するシステムの画面例 ～排出量集計結果による実態解析グラフ～



実行計画策定マニュアル及び  
温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン

[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/sakutei\\_manual/index.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/sakutei_manual/index.html)